

経営継承～あなたはどのタイプですか？



複数✓ 1 ☐	子供に農業を継がせたいと思っている	親としての 正直な気持ち を伝えましょう 結果、長男としての責任感やプレッシャーから継ぐこともあるかもしれませんが、それも含めて 選択権は子供 にあります 子供が自ら積極的に農業を継ぎたくなるように 魅力ある経営 を行いましょう
2 ☐	継いでほしい気持ちはあるが子供の人生は子供が決めることなので子供に継いでほしいとは言わない	立派な家や車、大型機械、スマート、雇用、給与、休日なども有効ですが、それよりも 農業に対する子供のイメージ が大切です 必要なのは忙しくても 夢中になって楽しんで 経営している 親の背中 を見せることです
3 ☐	自分の代で廃業しようと考えている	子供と話し合いを行い、リタイア後の農地や財産などについても考えを 共有 しましょう 子供は自分が継がないことに 責任 を感じているかもしれません もしかすると、子供は継ぎたいと考えているかもしれません
4 ☐	経営継承について考えるのはまだ早いと思っている	機械は乗れても修理やメンテは？資材の発注は？顧客や地域との付き合いは？ どんどん 子供に任せて いきましょう 子供に継承するのは農地や機械・施設だけではなく技術・ノウハウ・情報・顧客・地域との信頼関係など多岐にわたります
5 ☐	自分が元気なうちは継承せずに自分が経営したいと思っている	自分と比べて未熟と感じても、それを言葉にせず、 できるだけ早く 継承しましょう 子供もいつまでも若くはありません
6 ☐	子供が経営者として成長してから継承しようと思っている	経営継承の遅れは子供が責任ある経営者として 成長する機会 を奪うことになります 農業の後継者が減少しているのは儲からないからではなく、経営継承が遅いからです
7 ☐	子供と十分に話し合いができておらず経営継承について子供がどう考えているのか分からない	親子で改まって話す機会が無く、お互いに何を考えているのか分からない、ついつい感情的になって言い争いになってしまうなどよくある話です 思い切って 第三者 を交えて冷静な話し合いをしてみませんか？

Q 子供に「農家を継いでほしい」と言うべき？

継いでほしいと伝えることが子供への圧力にならないか心配する親も多いと思いますが、これは異性へのプロポーズと同じだそうです。

勇気を持って伝えなければ何も始まりません。選択権は相手にあります。

例えば、中学の進路選択の時に軽く、高校で就職か進学か考えるときに強く伝えましょう。他産業で働いて視野を広めてから就農することもあります。できれば30歳くらいまでには覚悟を決めてもらいましょう。

先延ばしにするほど子供が成長・自立して伝えにくくなりますので、早いタイミングから少しずつ伝えるようにしましょう。

Q 自分の代で廃業するので子供に伝えなくてもいい？

子供は親の仕事を継がないことに責任や負い目を感じているかもしれません。継ぐ場合も継がない場合も本音で話し合ひましょう。



親を悲しませたくない

親を楽にさせたい

プレッシャーを感じる

結婚できないかも

子の葛藤

今の仕事を続けたい

将来は継いでもいいが今はやりたいことがある

親は成功した自負が強く自分の意見など聞く耳を持たないのでは？

Q 子供が農業を継ぎたくなるようにするには？

魅力ある経営を実現するために規模を拡大し所得を確保することは重要です。一方で「仕事がキツイ！」「大変！」といった感じばかりが子供に伝わると、農業に魅力を感じてはくれないでしょう。

どんなに忙しくても、**夢中になって楽しんで仕事をし、幸せを実感している親の姿を見せる**ことが、感受性豊かな子供に響くのではないのでしょうか。

Q 子供に継ぐのはまだ早い？

「まだ未熟だから継ぐには早い」と思って踏ん切りがつかない方も多いのではないのでしょうか。子供に任せると自分の仕事がなくなる心配もあります。

「仕事ができない」「まだ経営者の器ではない」そう言って先延ばしにしていると、子供が経営者として成長する機会が失われてしまいます。

若くして成功している経営者はたくさんいます。

器は後からついてきますので、継がせたいと思ったら今すぐ行動しましょう。